



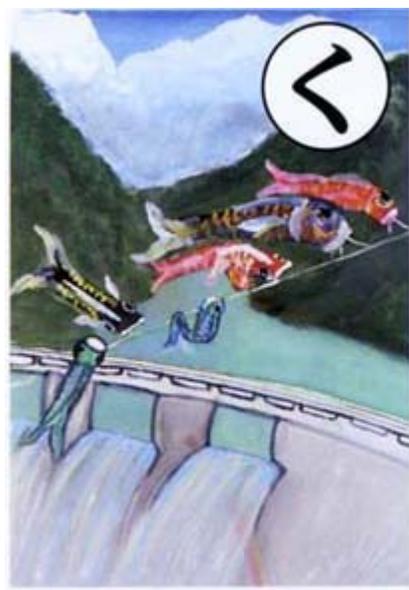
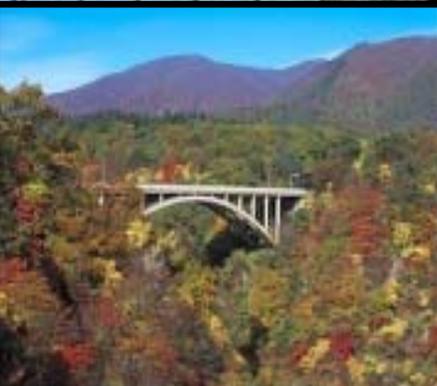
鳴子ダム水源地域ビジョン

第1回専門検討会資料

平成17年7月29日（金）



資料 - 2 専門検討会の運営計画



く
薫風くんぼうに
鯉こいのぼり舞う
鳴子ダム

く
【薫風くんぼうに
鯉こいのぼり舞う 鳴子ダム】
日本人の手によって出来た国内最初のアーチ式ダム。昭和三十二年の完成以来、洪水の心配は全くなかった。観光スポットとしてもすばらしい。上流には『荒雄湖畔公園』が整備され、様々なイベントで賑にぎわっている。

鳴子ダム水源地域ビジョン策定のステップ

策定委員会などの運営		専門検討会の運営(案)
1. 地域づくり活動の関係者(地域団体、学校、報道、関係・行政機関等)の情報を収集し、それぞれの活動内容、関心事項等について意見交換する。	第1回 策定委員会(1/26)	
2. 地域資源の状況、地域活動の状況を踏まえ、意見交換等を実施し、ビジョンの方向性を検討する。	第2回 策定委員会(3/23)	
3. 活動に関する意識や関心を高め、多様な主体者に参加してもらえるような広報活動を行う。 連携や交流の仕組みを検討する。	第3回 策定委員会(5/30)	
3. 地元の代表者や行政担当者等のメンバーによって、行動計画を検討する。	<u>第1回 専門検討会(7/29)</u>	<u>ビジョンの体系(意見の集約)、基本理念、基本方針を検討する。</u> 行動内容、行動主体、実施時期、目標時期などを明記した一覧表を作成する。 行動の具体的な進め方を検討する。 行動の優先順位を検討する。 <u>行動の推進のための役割分担、連携・交流の仕組みを検討する。</u> 行政への要望、支援などを検討する。
	第2回 専門検討会(8/下) (涌谷町での催し)	
	第3回 専門検討会(9/下)	
4. 活動を推するために必要なプログラム及びプロセスをデザインする。	第4回 策定委員会(H.17.12)	
5. 参加者が主体的な活動ができるように活動の場をつくり、運営する。行政機関は円滑な運営のためにサポートする。	第5回 策定委員会(H18.2)	

第1回専門検討会での協議事項

資料	協議事項	協議内容
資料1 鳴子ダム水源地域ビジョン策定委員会 専門検討会 名簿		
資料2 専門検討会の運営計画		・今後の運営
資料3 鳴子ダム水源地域ビジョン(骨子)	(1)鳴子町の位置づけ (2)鳴子ダム水源地域ビジョン (骨子)	・連携を図る上でのポイントはないか ・資源、活動内容、活動組織(ひろいもれはないか)
資料4 交流と連携に係る資料	(1)情報発信の一元化 (2)各組織の連携 (3)旅館・ホテルとグリーンツーリズムの連携	・ポータルサイト ・連携の現状と課題、小規模組織活動の対応 ・連携のあり方(安心院町GT、金山町、美山町、岐阜県、農林水産省の事例などをもとに)
資料5 新聞記事とりまとめ	(1)活動者の意見	・大沼幸男委員(東北経済産業局のモデル地区) ・後藤錦信委員、板垣幸寿委員(鳴子ツアー研の活動) ・向田晃委員(鳴子牛COWニバル) ・大山誠一委員(大崎市における地域自治組織) ・阿部俊一委員(鳴子町観光協会運営に係る課題) ・事務局(あつまれ!鳴子ダム2005、荒雄湖クルーズ)
資料6 鳴子ダム水源地域ビジョン (第3回策定委員会の状況及びその後の活動)		・広報活動(ホームページ、かわら版)は充分か
資料7 まちづくりに係る支援策		